



拝二小だより

～ かけはし ～



昭島市立拝島第二小学校
令和7年10月31日 No.7

文化をすすめる

校長 小川 広樹

錦秋の候、保護者、地域の皆様におかれましては御健勝にてお過ごしのことと存じます。

10月18日（土）に実施した拝二ピック（運動会）はいかがでしたでしょうか。すがすがしい秋空の下で実施することができました。保護者の方をはじめとする地域の方、御来賓の方々を含め1128名にお越しいただき御声援を頂きました。ありがとうございます。子供たちは、およそ1カ月間の練習の成果をしっかりと発揮していました。子供たちの成長する姿を御覧いただけたことと存じます。高学年の児童は出場種目以外にも係活動を行いました。おかげでスムーズな運営ができました。保護者の皆様には受付や片付けなどをお手伝いいただききました。大変ありがとうございました。拝二ピックでの子供たちの頑張りをこれからの成長にもつなげていきたいと考えております。

さて、11月3日は「文化の日」、国民の祝日です。内閣府によると「国民の祝日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）により、美しい風習を育てつつ、より良き社会、より豊かな生活を築きあげるために定められた「国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日」です。「文化の日」は「自由と平和を愛し、文化をすすめる」日とされています。

世界では平和を揺るがすようなことが沢山起こっています。様々な痛ましい報道を見るたびに、今の日本の平和をかみしめなくてはならないと感じます。そして日本には自由があります。個人が重んじられ、豊かな自由があります。この自由と平和を守り続けるために、沢山のことを学び、正しいことを実践できる力を付ける必要があります。学んだ力で「文化」をすすめることを考える日として文化の日を過ごしたいものです。

11月中旬から後半にかけて「しし座流星群」が見られます。極大は18日未明です。多い時には1時間に千個以上も流れ星が見えることもあり、大型で有名な流星群です。流れ星が流れている間に3回願い事を唱えたと願いが叶（かな）うと言われています。皆さんはどんなことを願うでしょうか。私は「世界平和」を願います。広い広い宇宙の「地球」というこの星に生まれ、ほんの小さな人間が力を合わせ、知恵を紡いで「文化」をつくり上げてきました。この文化を地球上で争いに使ってはいけないと考えています。これまでの歴史からも学ばなくてはなりません。夜空を見上げる時には暖かい服装で、安全にも気を付けて、保護者の方も一緒にお願ひいたします。

もう一つ、文化で大切にしたいと考えていることがあります。「日本の伝統文化」です。日本にはいくつものすてきな文化があります。「和食」は平成25年12月「日本人の伝統的な食文化」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。学校では給食の時間に、箸の持ち方を始め、食事のマナーなども指導しています。御家庭でも「和食」や「日本料理」について話題にするとともに、箸の持ち方なども見てあげてください。

今後とも拝二小の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「優しい言葉遣いをしよう」

「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を温める」という言葉があるように、『言葉』と『心』は密接に関係しています。しかし、相手の『心』のことを考えずに『言葉』を発する児童が多いように感じます。

今月は、ふれあい月間です。学校生活の中で、「優しい言葉遣い」を意識させ、相手の『心』を考えてから『言葉』を発するように指導していきます。各御家庭でも、相手の『心』を考えて『言葉』を言えるように意識させてください。御協力よろしくお願いします。